



いのちとくらしをまもる
防 災 減 災

令和 7 年 11 月 18 日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

「無人化施工バックホウの操作訓練」を開催します！

近年、自然災害のリスクが高まっており、富士砂防事務所管内においても富士山火山噴火や南海トラフ巨大地震の発生が懸念されています。災害復旧の現場においては建設作業員への二次災害の恐れがあるときには、無人化施工重機により災害復旧工事を進めるケースも増えてきています。

そこで、災害時に復旧作業を行う建設会社のバックホウオペレーター等を対象とした「無人化施工バックホウの操作訓練」を開催します。

1. 日 時

令和7年11月26日（水）～12月12日（金）（土日を除く）

午前 9：00～12：00

午後 13：00～16：00

※ 上記期間のうち、訓練参加申し込みいただいた時間帯に実施します。

現時点での申し込み日は、別添日程表に★印を記載しています。

日程を変更する場合もあるので、下記の間合せ先へご確認願います。

2. 場 所

大沢川遊砂地（第5床固工付近）

（富士宮市上井出地先 上井出 IC から約 10 分 別紙—1『会場案内』参照）

3. 参加予定者：富士砂防事務所管内の災害協定締結企業 等

4. 配 布 先：山梨県政記者クラブ、

静岡市政記者クラブ、富士宮記者会、富士記者クラブ、

5. 取 材：操作訓練の取材をご希望の方は、別紙—2『取材申込書』をご送付願います。

また、取材の際は、ヘルメット及び報道機関名がわかる取材者証（腕章）などの着用をお願いします。

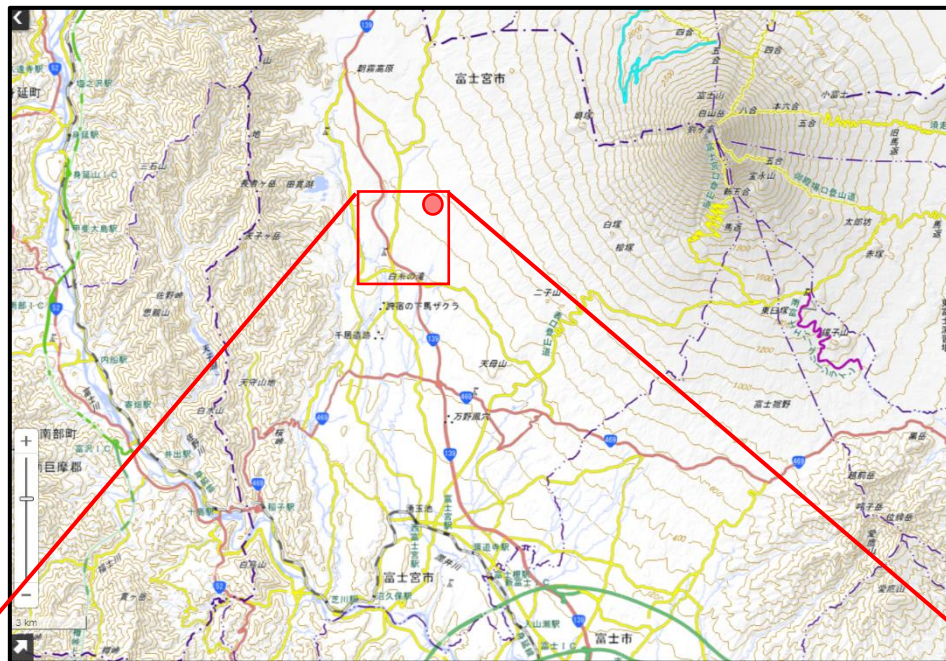
【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所

専門調査官 中戸 真一

TEL 0544-27-5387

FAX 0544-27-5986

会場案内



「無人化施工バックホウ操作訓練」
実施会場



国土交通省
富士宮砂防出張所

上井出IC

無人化施工バックホウ操作説明（11月26日～12月12日）

取 材 申 込 書

取材をご希望の報道関係者様は下記に必要事項を記入の上、
令和7年11月25日（火） 12時までに下記宛てに送付願います。

FAX番号：0544－27－5986

宛先：富士砂防事務所 調査課 中戸 宛

貴社名			
取材代表者氏名・人数		（ ）ほか ____名	
取材希望日		月 日() AM9:00～・PM13:00～ ※ 希望時間帯に○を入れて下さい。	
連絡先	電話番号		中止等の連絡に使用します
	電子メール		

【訓練の概要】

訓練開始前に、リモコン等の操作方法についての説明をいたします。

その後、会場内の土砂を使用して、遠隔操縦による盛土や掘削等の訓練を行っていただきます。（遠隔操縦に慣れることを目的としています。）

		日	月	火	水	木	金	土
11月	AM(9~12時)	23	24	25	26★	27	28	29
	PM(13~16時)				★			
12月	AM(9~12時)	30	1	2★	3	4★	5★	6
	PM(13~16時)						★	
	AM(9~12時)	7	8	9	10	11	12	13
	PM(13~16時)		★				★	
	AM(9~12時)	14	15	16	17	18	19	20
	PM(13~16時)		見学会	見学会				

 無人化施工操作訓練実施可能日

 見学会（関係機関（県市町村等）を対象）

※ 見学会の開催については、別途ご案内いたします。

★：訓練の申し込みがあった日（時間帯）

【参考】簡易遠隔操縦装置（ロボQS）

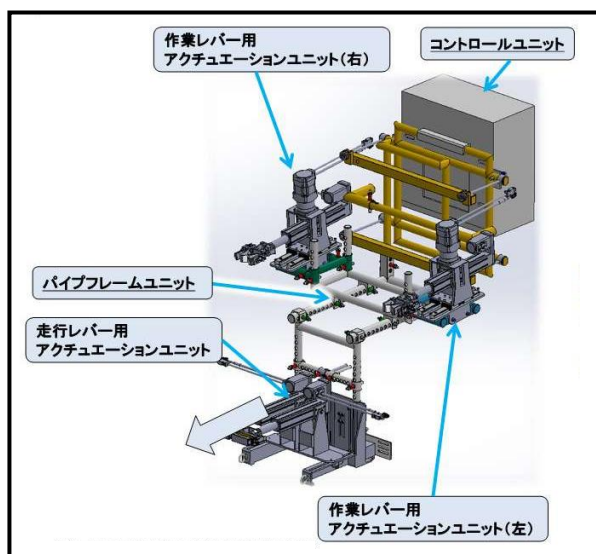
「簡易遠隔操縦装置（ロボQS）」は、既存のバックホウ（油圧ショベル）の改造が不要で、部品を取り付けるだけで、操作用無線機で遠隔操縦を行うことができます。



ロボQSの装着状況



ロボQSの装着部品



ロボQSの構成



ロボQSによる遠隔操縦での作業状況
（静岡市葵区 令和6年9月）



ロボQSのリモコン

【参考】昨年度の訓練状況 ふじあざみ133号(富士砂防事務所広報誌)より

「無人化施工バックホウの操作訓練」実施

近年、自然災害のリスクが高まっており、建設作業員への二次災害の恐れがある現場などでは無人化施工機械により工事を進めるケースも増えてきています。富士山が噴火したり、その恐れが生じた時にも安全性を担保しつつ工事を行う必要が生じる可能性があります。また、無人化施工技術については、今後建設現場の生産性向上にも繋がっていく技術となり、ますます活用が増えるものと思われることから、この度、重機オペレーター等の有資格者を対象とした「無人化施工バックホウの操作訓練」を開催しました。(令和7年1月24日～2月20日)

訓練は、中部地方整備局が保有する、「簡易型遠隔操縦装置ロボQS」という装置を用い、大沢川遊砂地内にて実施しました。

簡易遠隔操縦装置 ロボQSとは

災害発生時など、現地において装置を既存バックホウに取り付け、無人遠隔操縦車として使用することを可能にする装置。



バックホウ操縦リモコン



ロボQSの設置状況

■無人化バックホウによる土砂掘削状況



無人化バックホウ操作の動画
(富士砂防事務所HP)

■モニターによる遠隔操作状況



参加者の意見 ・ 感想

通常のバックホウ操作とは異なり、振動や車体にかかる負荷(油圧)などが分からず、指先のみでの操作となるため、バケットの角度などの調整が難しかった。モニター越しの操作は、距離感をつかむのに苦労したため、VRを活用できれば操作がしやすくなると思う。今後、人手不足の解消にもつながると感じた。